

# 施策評価シート

評価年度	令和元年度	事業実施年度	平成30年度	施策主管次長名	環境経済部次長 加藤 雅也	
施策番号	54	施策名	環境と人にやさしいまち		総合計画掲載頁	42
関係課名	環境課、下水道課					

## 1. 施策の概要

施策の目的	対象	市民	対象指標名	単位	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
			太陽光発電システム補助件数	件	114	150	95	115	-
			燃料電池システム補助件数	件	30	20	22	35	-
			人口	人	61,070	61,356	61,070	61,153	62,000
意図	・地球温暖化防止対策としての温室効果ガス(二酸化炭素:Co2)の排出量の削減をする。 ・あわせて、ごみの排出量を削減する。			成果指標名	CO2(温室効果ガス)の排出量削減				
					市民一人一日当たりのごみ排出量				

## 2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	温室効果ガスの排出量削減	t-Co2	523	410	530	343	380	-
	指標設定の考え方と把握方法							
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	市民一人一日当たりのごみ排出量	g	920	966	900	925	910	900
	指標設定の考え方と把握方法							
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	指標設定の考え方と把握方法							
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	指標設定の考え方と把握方法							

## 3. 施策の評価

項目	評価のコメント							
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	家庭でできる地球温暖化(Co2排出量削減)対策とごみの減量化の実践をする。						
	行政	地球温暖化対策(Co2排出量削減)の市民への啓発及び施策の推進						
達成度評価	近隣との比較	・太陽光発電システム及び燃料電池システム両方の補助を実施する市とのCo2排出削減量の比較 【単位:t-Co2】 H25 H26 H27 H28 H29 H30 (人口一人当たりの削減量) みよし市 717 759 500 487 410 343 (5.6kg/Co2) 豊田市 4,317 3,210 2,182 2,177 385 438 (1.0kg/Co2) 刈谷市 1,234 1,203 896 755 657 747 (4.9kg/Co2) 日進市 340 631 546 583 418 464 (5.1kg/Co2)						
	過去3年間の実績との比較	・市民1人1日当たりのごみ排出量(H29) 豊田市945g、刈谷市1,000g、日進市864g、長久手市884g、東郷町860g、みよし市966g ・過去2年間のCo2排出量削減については、いずれも計画値を下回っている。 ・ごみ排出量については、平成23年度931g、平成24年度985g、平成25年度935g、平成26年度954g、平成27年度961g、平成28年度951g、平成29年度966gと平成25年度から増加しているが、平成30年度は減少。						
現状と課題	・各補助事業ともに堅調な事業実績を挙げており、地球温暖化防止に向けた市民の関心の高さがうかがえる。 ・今後、更なる成果の向上を目指すべく、国や県で実施する補助制度について注視する必要がある。 ・ごみの排出量の削減に向けた施策が必要である。							
課題を踏まえた今後の取組の方向性	(今後の取組の方向性) ・Co2排出量は、家庭部門での伸びが顕著であり、今後においても一般家庭向けの施策の推進が必要であると考える。 ・首長誓約アクションプランの実施により、CO2の排出量の削減を図る。 ・リサイクル、リユース、リデュースを進め、家庭から排出されるごみの削減を特に進めていく。 ・平成30年度に引き続き、市民が利用しやすい補助事業を計画的に推進していく。 ・首長誓約アクションプランを実施する。 ・小中学校などの公共施設の屋根貸しによる太陽光発電の開始 ・新リサイクルステーションの設置							
市民意識	重要度	高い	満足度	高い	平成30年度市民アンケート調査による			